

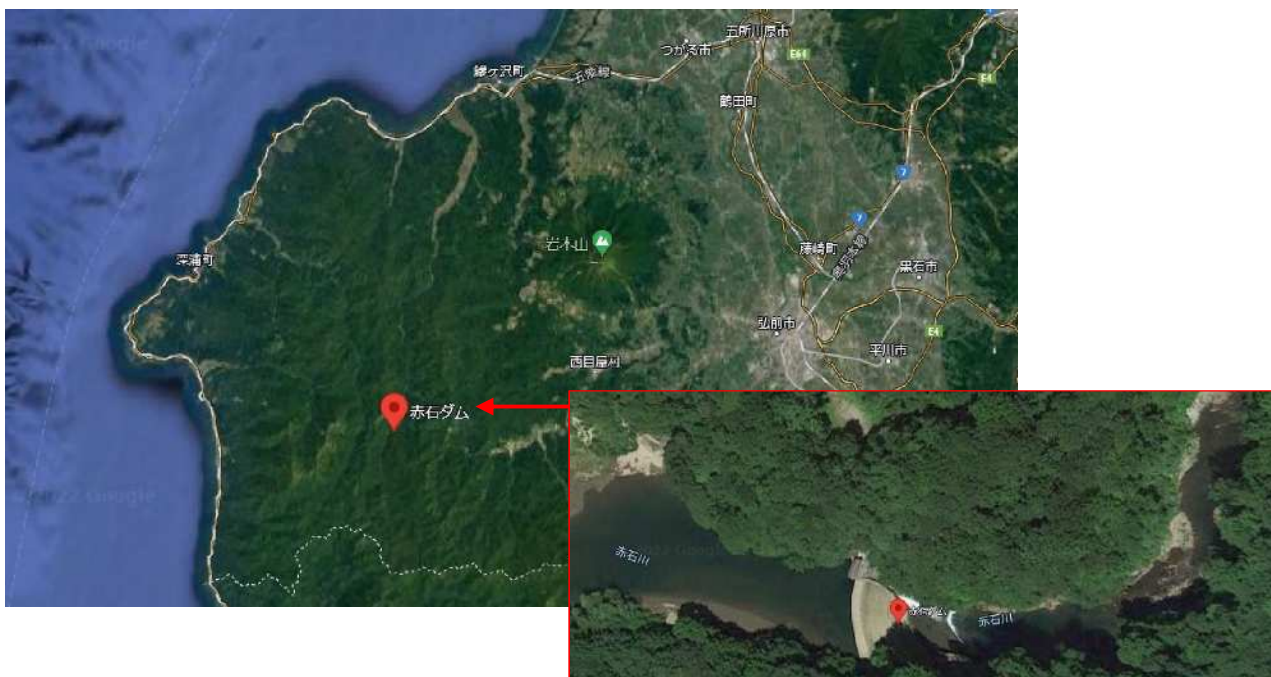
令和 5 年度 大池系発電所の水利使用に係る検討協議会

赤石ダムの土砂堆積への 対応状況の報告

令和5年 9月 1日
東北電力(株)

1

赤石ダムの土砂堆積への対応状況の報告



2

赤石ダムの土砂堆積への対応状況の報告

1. 赤石ダム堆砂問題について

◎大池系発電所は赤石川・追良瀬川・笹内川から取水し、大池第一・第二・松神の3発電所で発電を行っております。

◎このうち赤石ダムはダムへの堆砂が進行しており、更に堆砂が進行した場合には、導水路内へ土砂が堆積し、取水困難となり発電が出来なくなることが想定されます。このため、平成24年検討協議会以降も関係者間の協議を継続しております。

3

赤石ダムの土砂堆積への対応状況の報告

■赤石ダム堆積土砂の除去方法として、浚渫工法（機械力による場外搬出）を継続して検討してまいりました。しかし、この規模の湛水池を浚渫する場合、新技術を取り入れても、大型重機を搬入するために林道拡幅や林道橋の架け替え、湛水池への搬入路新設、土砂置場、浚渫台船組立て岸壁および泥溜池、沈殿池、浄化設備に供する用地確保などが必要となり、結果して長期間に亘る大規模な土地の改変（樹木伐採や地山掘削）が必須となります。

■今後も上記浚渫工法以外の機械力による堆積土砂除去工法を検討したとしても、「大規模な樹木伐採や地山掘削」「自然環境への影響」を回避することはできなく、機械力による堆積土砂の除去は、世界遺産白神山地緩衝地域に隣接する赤石ダムの立地特性から実現困難と考えております。

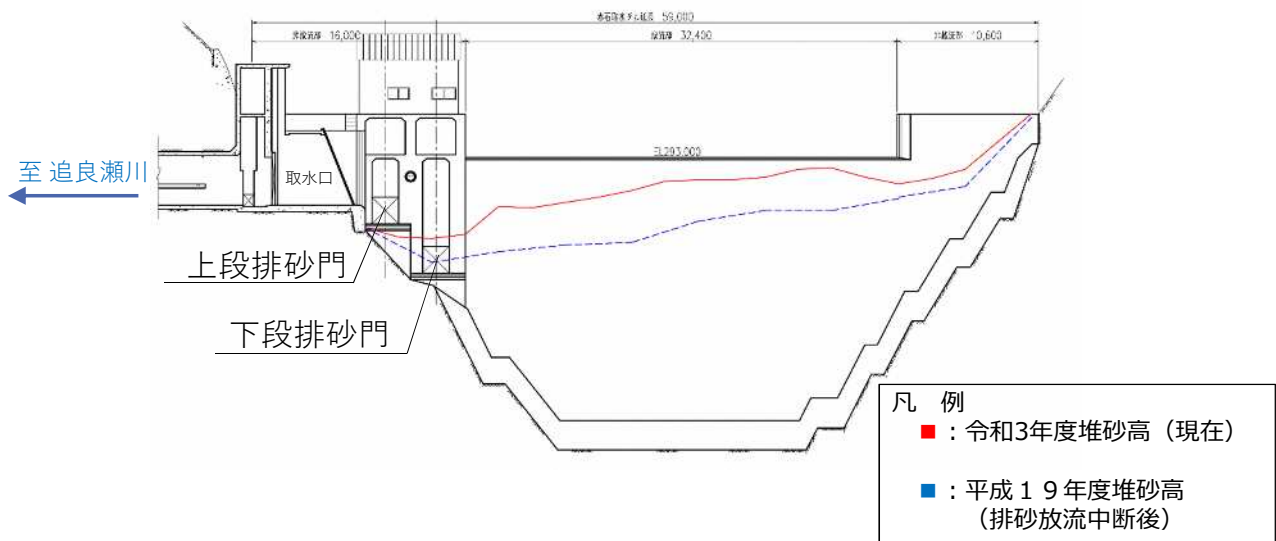
■一方、2019年より関係者のご理解を得たうえで、排砂門からの排砂放流を再開しており、その堆砂抑制効果が確認されているところであります。

■よって、今後も関係者のご理解・ご協力を得ながら、排砂門からの排砂放流を継続することが、唯一の解決策と考えております。

4

赤石ダムの土砂堆積への対応状況の報告

赤石ダム堆砂状況イメージ図



5

赤石ダムの土砂堆積への対応状況の報告

弊社で実施している浚渫工事の実例



上郷ダムの浚渫 (山形)



本名ダムの浚渫 (福島県 会津)

6